

令和2年度 決算報告書

国立大学法人大阪教育大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,877	6,153	276	(注1)
施設整備費補助金	431	881	450	(注2)
補助金等収入	109	368	259	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	27	27	0	
自己収入	2,603	2,573	△ 30	
授業料、入学料及び検定料収入	2,455	2,469	14	(注4)
雑収入	148	104	△ 44	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	513	510	△ 3	(注6)
目的積立金取崩額	294	284	△ 10	(注7)
引当金取崩額	6	11	5	(注8)
計	9,860	10,806	946	
支出				
業務費	8,860	8,769	△ 91	
教育研究経費	8,860	8,769	△ 91	(注9)
施設整備費	458	908	450	(注10)
補助金等	29	212	183	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	513	305	△ 208	(注12)
計	9,860	10,194	334	
収入-支出	0	613	613	

* 金額については百万円未満の単位で四捨五入しているため合計が一致しないことがある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった特殊要因経費や授業料等免除実施経費の追加配分により、予算額に比して決算額が276百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、工期延長による前年度からの繰越があったこと等により、予算額に比して決算額が450百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった補助金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が259百万円多額となっています。
補助金等収入には、授業料等減免費交付金が156百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者数が当初見込より上回ったこと等により、予算額に比して決算額が14百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、コロナ禍により更新講習を中止したこと等により、予算額に比して決算額が44百万円少額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金の受入が見込より減少したこと等により、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩額については、予定していた事業の経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。
- (注8) 引当金取崩額については、予算段階で想定していなかった引当金が発生し、当該引当金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、経費削減に努めたこと等により、予算額に比して決算額が91百万円少額となっています。
- (注10) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が450百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が183百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、決算額には次年度への繰越額を含めていないこと等により、予算額に比して決算額が208百万円少額となっています。